



小郡市長
平安 正知

新年明けましておめでとうございます。

平成26年の輝かしい新春を迎え、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお慶び申し上げます。

また、平素より、市政に対する温かいご理解とご協力を賜わりまして、厚くお礼申し上げます。

昨年は世界的に地球温暖化を原因とした異常気象に見舞われ、記録的な猛暑や大規模な洪水被害が多発しました。また、日本でも山口・島根県など各地を襲った集中豪雨や伊豆大島の土石流災害、さらには竜巻等により甚大な被害が生じました。

小郡市におきましては、これらの災害から市民の皆さまの生命・身体・財産を保護し、災害による被害を軽減すべく、『地域防災計画』を策定し、市や防災関係機関が行うべき災害予防対策や災害応急対策、災害復旧対策を定めています。

また、市民の皆さまにも「自助」「共助」の意識

七夕神社周辺地域が「恋人の聖地」に認定



プロポーズにふさわしいロマンティックなスポット「恋人の聖地」に「七夕神社(媛社神社)」や「老松宮(牽牛社)」 「天の川大橋」や「きらめきの塔」などが認定されました(本号15P)

平安市政3期目スタート



平安市長が小郡市長選挙で3選を果たし、5月15日に初登庁。3期目をスタートしました(6月1日号)

広報で振り返る 平成25年

広報おごおりで掲載した平成25年の主な出来事を振り返ります。
()は広報掲載号

如意輪観音御開扉



12年に一度の如意輪観音御開扉。初日には、長寿しあわせ練供と稚児練供が行われ、約1,000人が長寿と健やかな成長を祈願しました(5月1日号)



新端間橋・満天橋開通



3月30日に「新端間橋」、11月6日に端間自歩道橋「満天橋」が開通。「新端間橋」では、世代を超えて受け継がれる長寿の橋へと願いをこめて、「親子三代渡り初め」が行われました(4月15日号)



を持って、日ごろから災害に備えていただくよう、市といたしましても「自主防災組織」の設立支援や「防災リーダー」の養成に努めております。

現在、小郡市は、第5次小郡市総合振興計画を長期的な指針とし、まちづくりに取り組んでいます。この計画の基本理念は「市民との協働によるまちづくり」であり、これからは市民、地域、行政が課題を共有し、お互いに補完しあいながら一体となって「人が輝き、笑顔あふれる快適緑園都市・おごおり」を実現できるよう、施策を実行してまいります。

私は昨年の3期目就任から、新たに「自信と誇りと愛着に満ちたまち・おごおり」をまちづくりのテーマとし、おごおりに元氣と活力を、そして子どもたちが将来、安心して暮らせるような持続発展可能な地域社会づくりに取り組んでいます。

「自分たちのまちは、自分たちで創る」、このような市民の皆さまの情熱を織り込みながら「ふるさと・おごおり」をもっと広く、もっと深く、もっと力強く発展させてまいりたいと、新年を迎えて決意を新たにしているところでございます。

どうか、今後とも、市民の皆さまをはじめ、市議会、関係機関・団体などの多くの方々の変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、今年が皆さまにとりまして、素晴らしい年となりますことを心よりお祈り申し上げます、年頭のごあいさついたします。

防災リーダー誕生



地域の自主防災活動で自主的・主体的に活動する防災リーダー 59人が誕生(7月15日号)

市野球場バックスクリーン リニューアル記念 ドリーム・ベースボール開催



県内自治体では初となる8色フルカラーLEDを備えたバックスクリーンへのリニューアルを記念し、往年の名選手たちが市野球場に集結(11月1日号)

市民ミュージカル 「ハードル」4年ぶりに上演



一般公募で選ばれた54人が熱演。満員の会場は感動の渦に包まれました(12月15日号)

情報プラザを開設



イオン小郡ショッピングセンター内に情報発信の場として開設(12月1日号)

歩道案内を設置



最寄の鉄道駅から市内の史跡や文化財施設までの6ルートに歩道案内を設置(5月1日号)

防災に関する協定を締結



災害時備蓄に関する協定をNPO法人コメリ災害対策センター他2社と、災害時における一時避難所としての施設使用に関する協定を小郡カンツリー倶楽部と締結しました(3月1日号、12月1日号)

他にもこんなことが

- 地域防災計画の見直し
- 小郡市ハザード・マップを作成
- 市内の小中学校で土曜授業開始
- 小郡市バリアフリーマップを作成
- 各自主防災組織による避難訓練実施